

アレルギ―患者対応を

府と連携し情報提供する

南部登志子 議員 (無会派)

① 学校教育の課題。 ② 普賢寺小学校を卒業する



さまざまなアレルギーに
対応するためのマニュアル

打田・高船地区の児童は、田辺町の頃から生駒北中学校に通うことになって

いる。先日生駒市は、平成28年度から生駒北小学校と生駒北中を同じ敷地に

移し、一貫教育を行う方針を発表された。生駒北小に通わない本市の児童の対応はどうか。

今後情報収集し、保護者に丁寧な説明を行う。① 現段階では生駒市に委託しているが、今すぐではないが、児童や保護者の思いを尊重していきたい。

② 一日も早く正規雇用で、きょう取り組みたい。望めば田辺中に通えるようにすべきでは。③ 田辺小学校に同志社大学の留学生の子も通うことになり、通訳が必要となったが、ボランティアである。学校教育の通訳であるので、予算を確保し、有給の通訳を雇うべきではないか。

教育部長 ④ 生駒市より「具体的な検討はこれから。京田辺市の児童に不利益になるようなことはない。」と説明された。会を開くなど、患者同士が集まれるような場を設けるべきでは。

保健福祉部長 専門性もあり、市独自で情報を提供するとは難しいが、府と連携しながら情報提供し、講演会ができるか検討したい。

⑤ 最近、成人してからアレルギ―を発症する方が増加している。症状は様々であり、通院しても必ずしも完治するわけではなく、症状によっては適切な治療法を求めて様々な療法に大金を支払う場合もある。情報も氾濫して、治療法に混乱するなど、アレルギ―患者の置かれている状況は深刻である。市としても、アレルギ―に関する講演会を開くなど、患者同士が集まれるような場を設けるべきでは。

非常災害時の訓練対策は 消防人員車両等支障ない

小林喜代司 議員 (新栄会)

現在の消防体制、耐震構造の40ト程度の防火水槽の増設、消防団の訓練場の確保、非常時の連絡・指示の通信手段は確保されているか。消防団協力事業所表示制度導入の見直しについては、また、非常災害時の生活用水協力井戸の登録等について現状と今後の計画は。

消防長 現在の消防体制については、日頃から現場活動対応における各種の訓練を行っている。現在の人員及び車両で非常時の活動に支障はなく対応は可能である。防火水槽の増設については震

災時に有効な消防水利として従来より一定規模以上の開発では40ト以上の防火水槽の設置を指導しているが、公園や集会所の公共用地への設置に向けて計画を進めている。消防団の訓練場は訓練内

容に応じて、多目的運動広場、草内木津川運動場、各学校のグラウンドを使用し訓練を行っている。災害時の連絡・指示の通信手段については携帯電話で行っているが、大規模災害時には本市の行政無線の活用と今後は京田辺市J・A・R・E・R・Tの活用を検討したい。消防団

協力事業所表示制度の導入については、実施要綱の制定に向け事務を進めている。

危機管理監 非常災害時の生活用水の井戸の登録状況は現在25カ所である。今後も市民に周知を行い登録を進めたい。

② 天王、高船、打田地区を含む普賢寺地域の振興方策をJA京都やましろ等の関係機関と早急に協議を行うことが必要では。

副市長 この地域の農業は可能性を多く秘めていると思う。単純に農業だけの振興で済む問題でもなく、地域全体のあり方の中で農業をどう位置付け、どう振興していくか十分に検討したい。

① 非常災害時の対策として、消防力の強化を始め、各種の施策は万全に行われていると思うが、

現在、消防力の強化を始め、各種の施策は万全に行われていると思うが、



災害時に大きな役割を果たす消防団

副市長 この地域の農業は可能性を多く秘れていると思う。単純に農業だけの振興で済む問題でもなく、地域全体のあり方の中で農業をどう位置付け、どう振興していくか十分に検討したい。

経済環境部長 本市の米主体の小規模生産販売

検査している。

① 民間幼稚園に押され公立幼稚園の園児が減少している。教育委員会の大きな経営課題の一つである。通園バスといった

民間幼稚園の後追いではなく、公立ならではの強みを活かした対策を講じる必要がある。例えば、預かり保育の充実、小学校と連携した教育、育児相談機能の強化などを提案する。

教育部長 庁内に幼児連携推進会議を設置し、保育時間の見直しや育児相談機能充実などについて具体策を検討している。その中で、保育時間の延長も視野に入れている。

② 現在、市が自転車ネットワーク構想を構築中と聞く。エコで健康にも資する自転車を市民が安全・快適に利用できるような環境整備することは、大いに期待する。同志社大学の学生も「全国まちづくり政策フォーラム」で提案されるなど関心は強い。具体的に整備するルートは、市民の利用頻度が高い駅、学校などの公共施設、商業施設につながる路線を優先してもらう。

建設部長 構想は、駅や幹線道路を軸とした安全に通行できるネットワーク路線の設定、整備などのハード対策、そして利用ルールの徹底や交通

幼稚園児減少の対策は 保育時間延長など検討

鈴木康夫 議員 (一新会)



預かり保育でのお母さんのお迎え
(松井ヶ丘幼稚園)

規制などのソフト対策を兼ね備えた自転車政策の指針を策定する。

③ シルバー人材事業は高齢者の生きがい・雇用の創出、そして市民へ良質で安価なサービス提供の両面から意義深い。しかし、耐震性に問題ありの事務局の移転、作業場の確保についてメドはたっているのか。作業所は、技術(スキル)の伝承という点からニーズが高い。

保健福祉部長 移転場所については、かつて、旧園芸研究所跡地、旧法務局、みみずく保育園の跡地などを候補としてあげた。しかし、決定には至っていない。今後もサポートは行なっていく。

特長生かした農業振興策を

特産物後継者を創設し支援

塩貝建夫 議員 (共産党)

① 京田辺市の特徴を踏まえた農業振興策の考えと、市民のための多様な目的による農地利用の推進について4点伺う。

② 農家に対する振興策として、良質米出荷奨励事業や、共同機械購入費補助等を引き続き実施。市の振興強化策として、ナス農家育成事業に係る補助対象者の要件緩和、新規事業として特産物後継者育成事業を創設し、後進の担い手育成に必要な補助など、総合的に支援できる施策を新年度に向け検討している。

③ 市民農園は、農地利用推進機能があることから、支援していきたい。

④ 施設園芸は、京都府はなんまもん京ブランド産地支援事業の適用により支援していく。

⑤ 農産物販売施設等の整備は、消費者が身近にいるという都市の特徴を生かし、今後も支援していきたい。



本市の振興作物えびイモの収穫

⑥ 遊休農地、荒廃農地は、障害物除去、深耕、整地及び土づくり等の一括支援に加えて、農道補修や

農業委員会会長職務代理者 この間、TPP交渉に参加しない旨の署名運動を実施してきた。また、12月にTPPの学習会を行い、当農業委員会

でどうするか必要な取り組みをまとめていきたい。建議については自らの意見をj持てるよう情報を持った上で考えていきたい。